

地域ぐるみの地方創生、林業振興、雇用創出等に貢献

信州ウッドパワープロジェクト

〔信州ウッドパワー株式会社／信州ウッドチップ株式会社〕

ポイント

① 年3万トンの未利用材を活用

東信地域の森林組合や素材生産者等による林業生産活動（主伐・間伐）において発生する低質材（製材品等として利用できない伐採木）や松くい虫被害材を木質バイオマス燃料として発電

② 令和2年春に稼働開始

1,990kW（2MWクラス）の発電出力により、一般住宅約4,500戸の電力量を供給。今秋から未利用材の受入を開始予定

※ 森林づくり県民税活用事業により松くい虫被害材も出材予定

資料提供／信州ウッドパワー株式会社
資料編集／長野県上田地域振興局 林務課

事業概要

（1）木質バイオマス発電

（信州ウッドパワー株式会社）

- 発電出力：1,990kW（2MWクラス）
- 燃料：間伐材等未利用材の木質チップ
- 発電方式：ボイラー・蒸気タービン方式
- 電力販売：固定価格買取制度（FIT）
- 出資者：清水建設(株)、長野トヨタ自動車(株)

（2）木質チップ製造

（信州ウッドチップ株式会社）

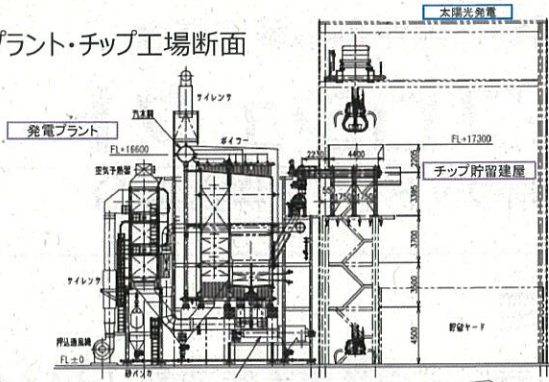
- 対象原木：カラマツ、アカマツ、スギ等
- チップ種別：切削チップ
- 製造機器：ディスクチッパー
- 生成量：年間30,000t（全てSWP用）



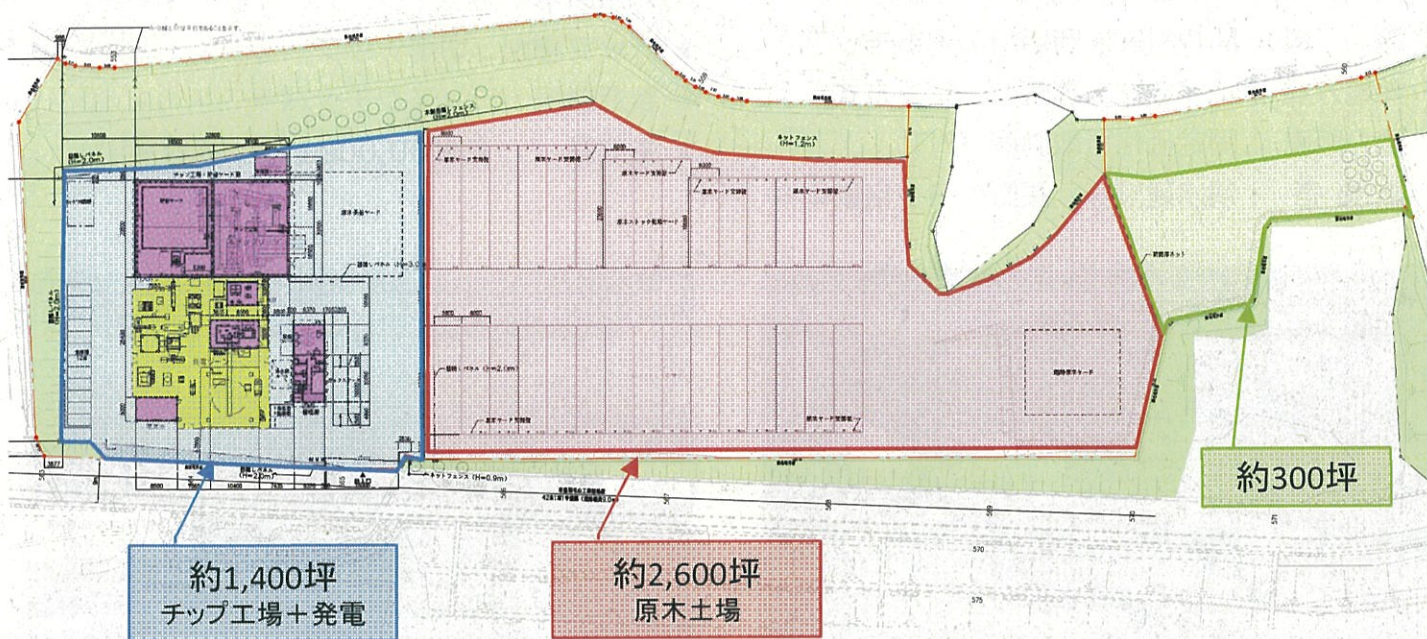
完成予想CG

信州ウッドパワー 計画概要

発電プラント・チップ工場断面



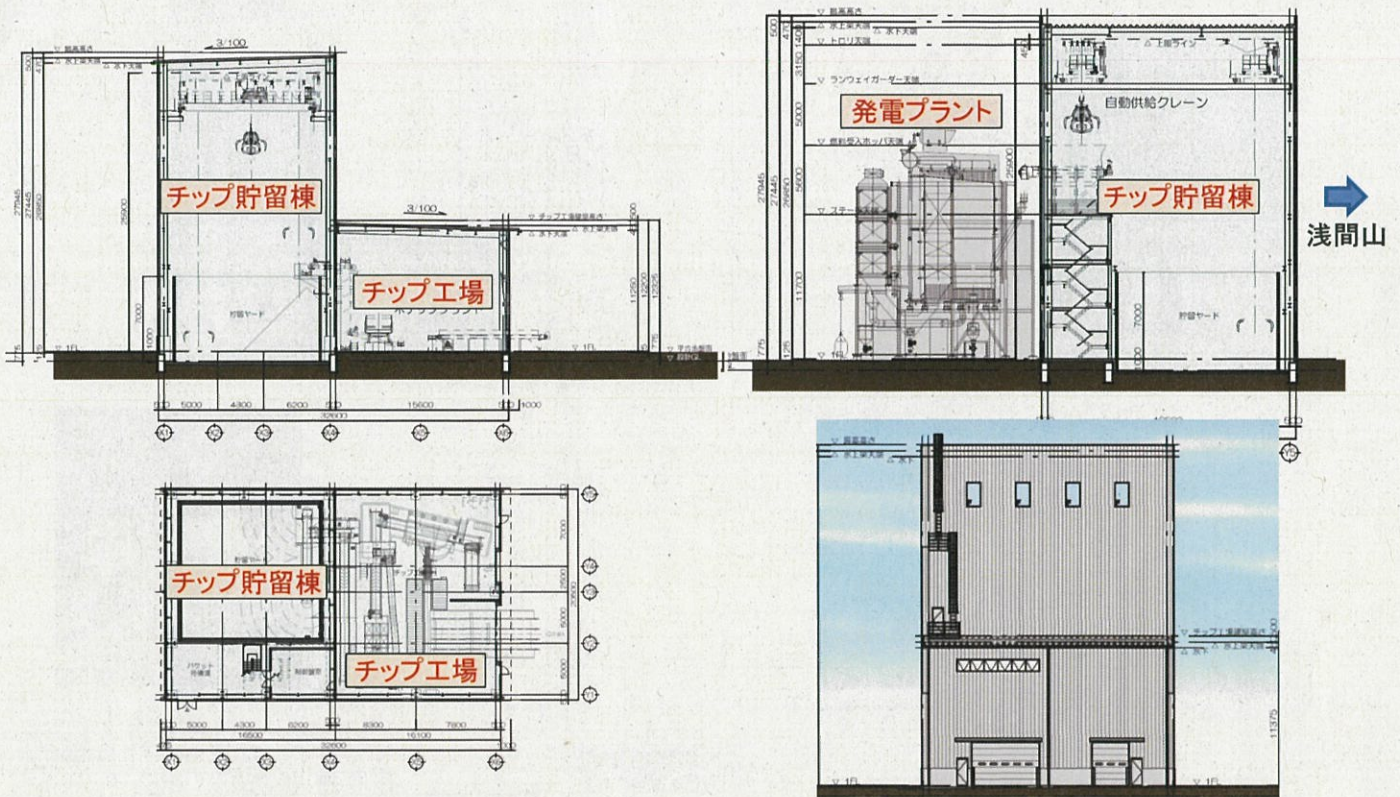
全体図 計画敷地用途(斜面地は含まず)



チップ建屋（鉄骨造）

■ チップ工場・チップ貯留建屋

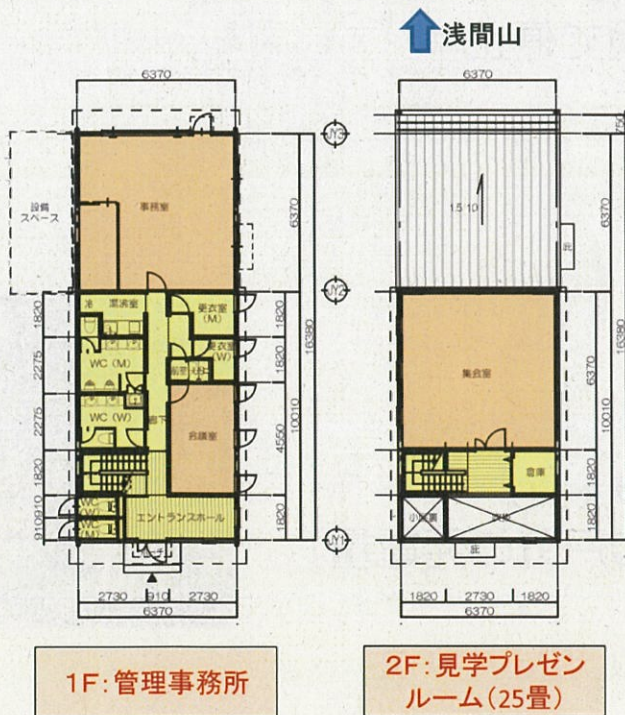
屋根に太陽光パネル



事務所建屋（木造）

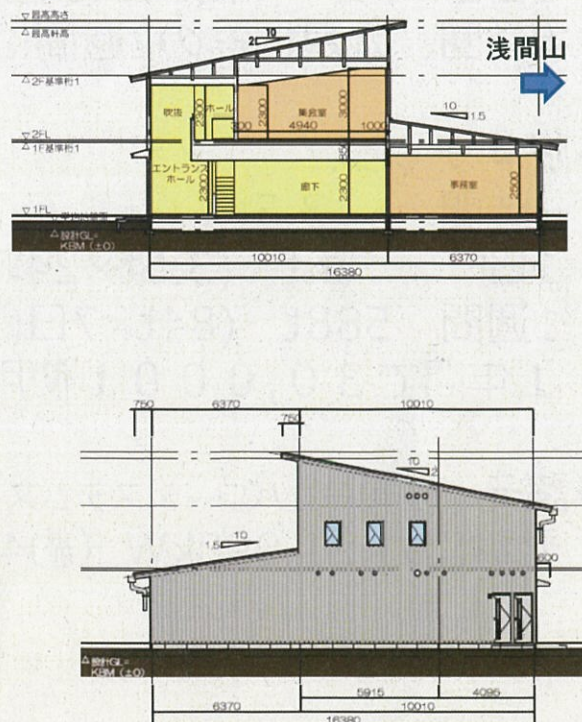
■ 管理棟

主要構造材はSGEC+信州カラマツ



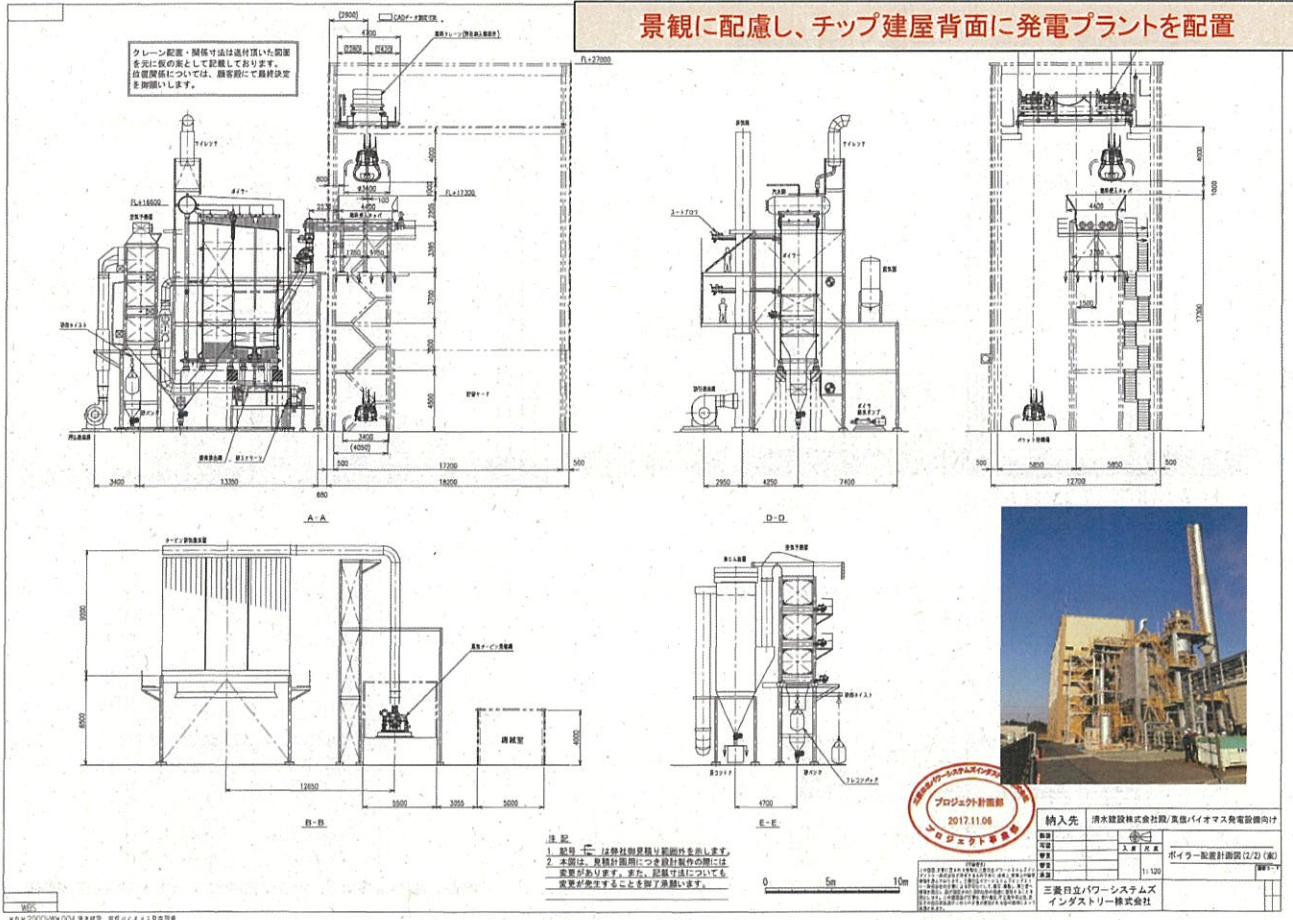
1F: 管理事務所

2F: 見学プレゼン
ルーム(25畳)



信州ウッドパワー 発電プラント

景観に配慮し、チップ建屋背面に発電プラントを配置



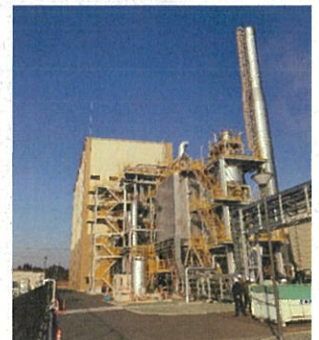
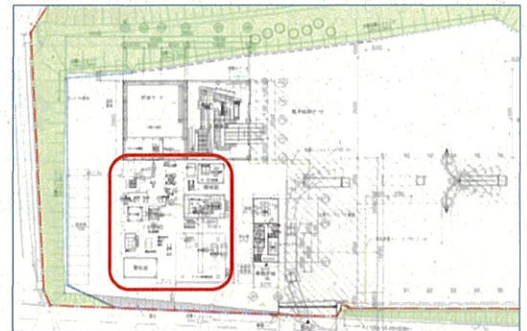
信州ウッドパワー(発電) 運転・営業概要 (SWP)

- 営業運転時間
1日24時間・年間345日連続運転
年1回、8月旧盆の2週間は点検で停止

- 燃料チップ
1時間 3.5t
1日 84t (3.5t×24時間)
1週間 588t (84t×7日間)
1年間で30,000t使用

- 諸元 (三菱日立パワーシステムズインダストリー)
発電出力: 1,990kW (約4,500戸分の発電量)

- オペ・従業員 2名×4班=8名新規雇用予定



信州ウッドチップ(チップ製造) 運転・営業概要 (SWC)

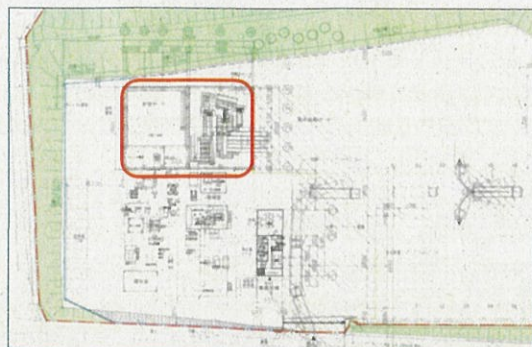
● 営業時間

平日 8時30分～17時30分
日曜は休日 (土曜は基本休日)
月～金曜日に土日の分まで製造

● チップ製造計画 = 原木使用計画量

1時間 20 t (1日6時間稼働を想定)
1日 120 t (20t×6時間)10 t 車約15台分
1週間 600 t (120t×5日 月～金)
1月 2,600 t (120t×22日)
1年で30,000 t (600t×50週)

● オペ・従業員 3名を新規雇用予定



原木の受入について

- 対象森林：①森林経営計画・国有林野実施計画対象森林・保安林にて認定・契約・許可を受けたもの
②間伐材で伐採届を出したもの 別紙資料有

- 受入時間：平日8時30分～17時00分予定

- 材寸法：基本は4m材 (2m材も一部可)

- CD材種別：カラマツ

アカマツ健全木

アカマツ松くい被害材 (原則当年枯)

※未利用材として認定されることが前提

※原則受入時期は10月～3月としたい

スギ、ヒノキ、他広葉樹

